

出生動向基本調査

【実施機関】

厚生労働省国立社会保障・人口問題研究所人口動向研究部

目的、沿革等は、社会保障・人口問題基本調査の項を参照のこと。社会保障・人口問題基本調査と総称される調査の一つである。

出生動向基本調査夫婦票（結婚されている方への調査票）（調査名：出生動向基本調査）

【調査対象】

（地域）全国 （単位）個人 （属性）平成 22 年国民生活基礎調査の調査地区から抽出した 840 地区内に属する妻 50 歳未満の夫婦

【調査方法】

（選定）無作為抽出 （客体数）9,000/13,660,000 （配布）調査員 （収集）調査員 （記入）自計 （把握時）平成 22 年 6 月 1 日現在 （系統）厚生労働省一都道府県一（保健所を設置する市・特別区）一保健所一調査員一報告者

【周期・期日】

（周期）5 年 （実施期日）平成 22 年 6 月 3 日～7 月 29 日

【調査事項】

1. 夫婦（及び両親）の人口学的・社会経済的属性（夫婦の出生年月、夫婦の学歴、夫婦の職歴、夫婦の現在の仕事と収入、今後の仕事と収入の見通し、両親の出生年、両親との同別居、夫婦の兄弟姉妹数）
2. 夫婦の結婚過程に関する事項（結婚年月（生活を始めた、届け出）、初再婚の別、夫婦の出会い・婚約時期、同棲期間、夫婦の出会いのきっかけ、結婚を決めたきっかけ）
3. 夫婦の妊娠・出産・健康に関する事項（夫婦の子ども数、夫婦の妊娠・出産歴、理想子ども数、追加予定子ども数、希望時期、予定子ども数、持つつもりの子どもの数を実現できない原因、理想子ども数を持ってない理由、不妊の悩み、不妊治療経験、以前の結婚の子ども数と出生年月、再婚経験者の初婚・離死別の時期）
4. 妻の就業と出産・子育てに関する事項（子どもを持ったときの妻の就労状況）
5. 保育環境・保育資源に関する事項（育児期の両親との同別居・手助け状況、育児期の制度・施設の利用状況・居住地）
6. 妻の結婚・子ども・家族に関する意識（家族形成に関する考え方）

出生動向基本調査独身者票（独身の方への調査票）（調査名：4. 出生動向基本調査）

【調査対象】

（地域）全国 （単位）個人 （属性）平成 22 年国民生活基礎調査の調査地区から抽出した 840 地区内に属する 18 歳～49 歳の独身男女

【調査方法】

（選定）無作為抽出 （客体数）15,000/23,600,000 （配布）調査員 （収集）調

査員（記入）自計（把握時）平成22年6月1日現在（系統）厚生労働省—都道府県—（保健所を設置する市・特別区）—保健所—調査員—報告者

【周期・期日】

（周期）5年（実施期日）平成22年6月3日～7月29日

【調査事項】

1. 独身者（及び両親）の人口学的・社会経済的属性（出生年月、性別、学歴、本人・両親の仕事、現在の仕事と収入、今後の仕事と収入の見通し、両親の出生年、両親との同別居、両親の学歴、兄弟姉妹数）
 2. 結婚への意欲・態度及びその背景に関する事項（結婚の利点、独身の利点、結婚への不安、結婚意欲、結婚の条件、結婚への障害、独身でいる理由）
 3. 異性関係・パートナーシップに関する事項（結婚経験、初婚時期、離死別時期、性交渉経験、同棲経験・期間、子ども数、希望子ども数、異性との交際状況・希望、交際相手との出会い（時期・きっかけ・相手の状況）、
 4. ライフコースに対する考え方（将来のライフコース）、
 5. 結婚・子ども・家族に関する意識（家族形成に関する考え方、生活スタイル）
- （平成28年11月更新）